

M ムービング・オン MOVING ON

CONTENTS

対談 ヒノキヤグループ・近藤昭社長に聞く
組合行事報告／青年部仙台視察研修
埼玉いいところめぐり in 行田



表紙「飛行機」渡邊あや AYA WATANABE



HINOKIYA

空調革命 Z空調

— ゼックウチヨウ —



桜家住宅は、お客様がイメージしやすい『リアルサイズ展示場』を展開しています！



屋上庭園“青空リビング”と大屋根を生かした勾配天井の“アトリエ”を2階に配置したLDKと繋ぐことで、広々と開放的な空間を創出。ぜひご体感ください！



ヒノキヤの全館空調「Z空調」は建物の断熱・気密を「ヒノキヤグループ」、空調を「ダイキン」、換気を「協立エアテック」と各社が持つ高い技術のコラボレーションにより実現した全館空調システムです。家中の温度差のない快適な暮らしを実現！

※特許取得済：特許第 6211675 号

はじめまして
ほく、ひのくま

さいたま新都心展示場

さいたま新都心 コークンシティ住宅展示場内
〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-264-1

桜家住宅ホームページ www.hinokiya.jp

ひのきや

検索

HINOKIYA





株式会社アサヒコミュニケーションズ

新井 貴之

代表取締役

埼玉県印刷工業組合 常務理事

明治43年創業の印刷所（現：株式会社アサヒコミュニケーションズ）。

弊社はおかげさまで今年で113年目に突入しました。一般的な伝達手段は印刷物がメインだった創業当時、現在を誰が想像したでしょうか？そこから時代の流れを経て今の私たちがあります。私は5代目ではありますが、先代も時代によってさまざまな変化を繰り返してきました。一生安泰の業界、企業は基本的には存在しません。変化してきたからこそ存続しているのだと感じています。

現在、また新たな世の中の変化が起きています。引き金がコロナショックです。

この度5月8日にコロナが5類に移行し、世の中がいよいよ通常の社会に変わってきています。経済は人が動いて成立している部分が大きく、リアルが経済を支えています。地域のイベントや飲食業も少しずつ元のカタチを取り戻し、活気が出てきたように感じます。

コロナウイルスによって通常では予想できなかった変化が多々起きました。一番は「コミュニケーション」の取り方が変わったことを肌で感じています。

通常だと10年から15年くらいかかると見立てていたことが一気に訪れてしまいました。オンラインによるコミュニケーションの加速、そしてそれに伴うペーパーレスの加速です。顧客との商談はオンラインが増えて、今まであった

はずの印刷物がペーパーレスに変化していくことが増えてきました。一般的に顧客との接点が減ってくれば、そこで活用する印刷物も減少していきます。SDGs、ESG、CSV、DX、ブロックチェーン、〇〇テックなどなど次々と新しいキーワードが生まれています。

このような状況の中だからこそ、組合の仲間で知恵を出し合い、未来に向けて助け合っていたらと思っています。世の中から印刷物が激増することはもう無いと思いますが、無くなることはないかと思っています。ただし、印刷物が増える、減るの話が重要なわけではなくて世の中がどう変わってきているか、人々の暮らしや企業の在り方、その中で発生するコミュニケーションがどのようになっていくのかを皆で議論していく必要があるのです。

今後、印刷物は価値のあるモノとして捉えていく必要があると感じています。そのために何を付加するのか、どんなシーンで印刷物は使われるのか、何のための印刷物なのか、そのために自分たちは何をするのかを組合でもより考えていきたいと思っています。

そのようなことに備えるチームがグランドデザイン室だと認識しています。今のままでよいではなく、自ら（組合メンバー含）を奮い立たせ、皆の知恵を結集して次なる未来に備えていきたいと思います。

対談企画 第4弾

ヒノキヤグループ・近藤昭社長に聞く 成長を続けるためのマネジメント術



社会課題から、
新たな需要を掘り起す。

埼玉県印刷工業組合は、注文住宅や断熱材事業を手がける（株）ヒノキヤグループ（近藤昭社長、東京都千代田区）との座談会を4月18日に開催しました。同社は俳優の斎藤工さんのCMでも有名な全館空調システム「Z空調」により1年を通して快適な住環境を提供するなど、機能性に着目した豊かな「暮らし」を実現することで成長を続けています。

当日は丸山靖雄副理事長（コスモプリント、埼玉県行田市）と新井貴之常務理事（アサヒコミュニケーションズ、埼玉県鴻巣市）がヒノキヤグループ本社を訪問し、近藤社長から事業承継や会社発展に向けた取組み、環境問題とSDGs、印刷業界への提言など、多くの経験談と貴重な意見をいただきました。

丸山 本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。埼玉県印刷工業組合は印刷会社や関連業者など49社で構成しており、50歳前後のメンバーを中心に活発に活動しています。今回は組合事業の中でヒノキヤグループさんと縁があり、企画させていただきました。

まずは貴社の歴史や事業承継についてお話しいただけますでしょうか。

近藤 当社は1988年に妻の父親である黒須新治郎が創業し、1990年には埼玉県加須市に移転しました。

義父は昔から会社を大きくして、将来は上場を目指したいと語っていました。私は建築業界とは別の業界にいたため、義父の会社に入るかどうか悩みましたが、30代を迎えて今後もサラリーマンとして働いていくのか考えていた時期で

もあったため、新しいことに挑戦するには年齢的にもちょうど良いと思い、約20年前に入社しました。

その後、2007年に名古屋証券取引所市場第二部に上場することができました。そして、2009年4月に社長に就任しました。42歳の時でしたが、義父からは私が50歳になるまでに、つまり8年間で売上1000億円、利益50億円を

目指すように言われていました。その当時の売上は188億円、利益も6億円台だったので、私からすれば途方もない数字でした。

上場を機にM&Aを行ったり、新たに不動産の分譲なども手がけたりと新しいことへの挑戦を始め、結果として売上高1000億円、利益50億円を50歳手前で達成し、2018年には東京証券取引所市場第一部に上場しました。

そして、2020年にヤマダホールディングスにグループ入りし、2022年4月に上場廃止しました。

その後も業績は伸び続けており、2022年12月期は売上高1347億円、経常利益72億円と、どちらも過去最高の数字を記録しています。住宅の販売棟数も初めて4000棟を越えました。そして今年の7月には傘下の子会社6社を合併し、経営資源の集中と業務効率化を図ることで、さらなる企業価値向上を目指します。

丸山 コロナ禍でも成長を続けているのはすごいですね。コロナの影響などはいかがでしたか。

近藤 コロナ禍はわれわれの業界にとっては追い風になりました。リモートワークや巣ごもりで家に滞在する時間が長くなり、住宅について考える機会が増えたからなのではないかと思います。

丸山 会社の経営理念について、重視していることはありますか。

近藤 2020年に「ヒノキヤグループ2030ビジョン」をまとめ、10年先の目指すべき姿として次の4つを掲げています。

- ①我々は、日本の住環境を劇的に変え、日本人の暮らしの質を世界標準に向上させます。
- ②我々は、業界トップの働きやすい環境と高い生産性を達成します。
- ③我々は、他に類を見ないビジネスモデルの更なる構築に向けて、創造と挑戦を繰り返します。
- ④我々は、独創的かつ持続的な価値を提供する社会貢献企業を目指します。



近藤昭社長

①は当社が長年取り組んできたことであり、家造りの基本的かつ理想とする考え方です。その目標のために、2009年に日本アクアという会社をグループ化しました。この会社の「アクアフォーム」という断熱材を使用することで断熱性に優れた住宅を提供していき、その流れから当社の全館空調システム「Z空調」が誕生しました。

日本の住宅は昔から人の居る部屋だけ冷暖房を行うことがスタンダードですが、それは世界の先進国では日本だけです。日本の住宅は性能が低く、住宅全体を冷暖房すると光熱費がかかり過ぎてしまう経済的な問題も普及していない理由になっています。人の居る部屋だけを冷暖房する考え方は一見合理的に思えます

が、冬場などは洗面所が寒いために血压が急激に変化するいわゆるヒートショックで高齢者が亡くなるケースも多く発生しています。そうした現実を踏まえて、世界での当たり前を日本でも当たり前にしていきたい、2030年には新築住宅においてはスタンダードにしたいと思い、提案を続けています。

また②については、人材不足の時代なので企業が生き残っていくには良い人材を安定的に確保しつつ、かつ高いモチベーションで働いてもらうことが大切です。人手不足による倒産が当たり前に起こる時代なので、改革を推進しています。

丸山 日本の住宅の性能が低いというのは驚きです。

近藤 一部の寺社建築などは伝統的に技があると評価されていますが、一般住宅などについては耐震性などを重要視されていても、快適性は意識されていない方が多いようです。特に都心では土地が高く、性能面まで重視できない事情もあるかもしれません。そうした方々にも快適性を追求していきたいと思っています。

私自身も当社の入社直前に家を建てましたが、当時は知識もなかったのでリビングに大きな吹き抜けのある家にしました。開放的で明るく、モデルハウスのような家を夢見ていましたが、現実的には冬場は寒く、暖房をしても温まった空気



丸山靖雄副理事長

が上に逃げたしまい、気密性も考えていなかったため床暖房も効果が低くなってしまいました。その失敗を自ら経験したことで、住宅のあるべき姿として断熱性、気密性を重視するようになりました。その頃はちょうど地球温暖化という言葉が広まり始めた時代で、今後は住宅にも環境性が求められる時代になると思っていました。

自らの経験をベースにしつつ、世界の住宅事情も見えていたので日本住宅の問題点は理解していました。通常の価格帯で快適な住宅が提供できれば喜ばれるだろうと考え、「Z空調」を推進しています。

丸山 環境問題やSDGsについてはいかがでしょうか。

近藤 住宅の断熱性能を高めることは、CO₂排出量の削減や光熱費の低減など、環境問題の直接的な部分に貢献できると考えています。また、SDGsの目標の一つに「すべての人に健康と福祉を」という項目がありますが、WHO（世界保健機関）はそれに関連して建物の室内温度を18度以上にすることを提言しています。18度を下回ると健康リスクが高まるためです。「Z空調」は冬場でも20度以上をすべての部屋でキープすることを物理的にも可能にしているため、福祉の観点でもSDGsの目標達成に貢献できていると思います。

丸山 人口減少が進む中、今後の方向性などをどのように考えていますか。

近藤 人口が減少し、世帯も減っているため市場全体では住宅着工数は減少しています。ただ、われわれの業界は最大手のハウスメーカーでも日本の戸建ての2～3%程度のシェアしかなく、全体の市場が減っても戦略によっては伸ばす余地が十分残っています。当社の直営店舗は東北から関東甲信越、東海の一部までしかなく、西日本はフランチャイズが一部あるだけなので市場としては開拓の余地が十分に残っています。厳しい時代だからこそ自分たちのアイデアや工夫が活かせるとも考えています。

そのためには人材の確保や業務の効率化にも取り組まなければいけません。当社の業務は労働集約型のため、1つの家が完成するまで膨大な時間と労力がかかります。お客様の見る目も厳しくなっている一方で労働環境も改善していかなければいけません。経営的には厳しい時代ですが、人の問題と業務の効率化を並行して取り組んでいます。

丸山 印刷会社にはどのようなイメージを持たれていますか。

近藤 デジタル化の波とペーパーレス化で苦勞されていると思います。印刷物が無くなることはありませんが、お客様に渡すカタログなども最近ではデジタルで要望される方が増えていると営業から聞いています。世の中の変化に対して、印刷のあり方を再定義するタイミングにきているのではないのでしょうか。



新井貴之常務理事

紙が減っていくことは間違いのないので、そこに依存しすぎると経営が急に傾くリスクもあります。顧客を幅広く開拓していくことが必要だと思います。

丸山 クライアントの立場として、印刷業に求めるニーズやアドバイスはありますか。

近藤 当社も以前は印刷物をお客様に配ったり、ポスティングもしていましたが、今はWebでの集客がメインになっています。ただ、Webに掲載する情報にはニーズがあり、そのためのデータをデザインして提供する仕事は今後も残っていくでしょう。印刷だけでなく、企画やデザイン、販促提案までをサポートしていくことが重要ではないのでしょうか。仕様通りに印刷して納めるだけでは厳しさは増していくと思います。

新井 順調に成長されていますが、これまでの失敗談などはありますか。

近藤 大きな失敗はありませんが、会社の歴史を遡れば創業からしばらくは社内体制やコンプライアンスが整っていなかった時期もありました。上場を目指すという目標を立てた時に、現状のままでは上場は難しいので組織体制の見直しや社内のルール作り、社員の労働環境整備など、上場に向けて取り組んだことが今振り返ると大事でした。

上場した後も、社内ルールの一つとして、数年前に社員の服装を自由化しました。その際に社員に伝えたのは、どんなルールでも作られた理由があったはずなのに、徐々に忘れて理由も分からないま



ま続けていることが多い。書類一つにしても時代の変化に応じ、不要なら作らない、というルールに変えてよい。そうした見直しを図っていく一つの象徴が服装の自由化です。

丸山 今一番注力していることはなんですか

近藤 賃上げなどを含め、いかに社員のモチベーションを高めて維持していくかを考えています。そのために、60歳を超えた後のキャリアデザインなども含めて、人事制度の再構築を図っています。どの業界も人手不足ですが、われわれの業界では特に職人が不足しています。職人がいなければ受注しても施工ができないため、経営に直結する問題です。経営者にとっては大変な時代ですが、挑戦を続けることで新たな世界が拓けてくると信じています。

丸山 貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。



空調革命
エアコン
 — ゼックウチヨウ —
《松家住宅》
提携割引のお知らせ

松家住宅 ご利用で	注文住宅	戸建分譲住宅	リフォーム
組合員 ご自宅や ご実家も可	建物本体価格（税別） の 4%引き	販売価格（税別） の 1.5%引き	契約価格（税別） の 3%引き

提携法人制度により、組合員の皆様が住宅等を購入する際の割引特典

松家住宅で新築・建替え・リフォームの契約時に提携割引が受けられます。
 提携割引の適用には、初回来場時に紹介カードの提示が条件となります。
 フランチャイズ展示場の一部では特典が対象外となる場合がございます。

※紹介カードは表記のQRコードよりお取込み下さい →



【提携割引と紹介カードに関するお問い合わせ先はコチラ】

HINOKIYA 松家住宅 営業企画部

TEL 050-1702-1927 MAIL suishin2@hinokiya.jp

令和4年度 組合行事報告

「通常総会」開催

2022.5.26(木)

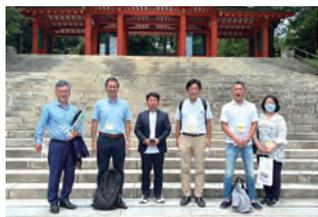
令和4年5月26日 THE MARK GRAND HOTEL (さいたま市中央区新都心3-2) 4F 檜の間にて「通常総会」を開催し、任期満了に伴う役員改選で、恵勇人理事長を再選した。



「関東甲信越静地区協議会 第69回年次大会」

2022.7.1(金)2(土)千葉開催

令和4年度の「関東甲信越静地区協議会上期定例会」が、7月1日、2日の2日間にわたり、千葉県印刷工業組合の主管により千葉県香取市佐原で開催されました。恵理事長、新副理事長、丸山副理事長、浅野常務理事、今家常務理事、事務局が参加。



「コミュニケーションDX勉強会」

2022.8.24(水)

さいたま市新都心のランドアクシスタワー内の富士フィルムビジネスイノベーションジャパンで開催された。



「第23回親睦ウォーキング大会」

2022.9.11(日)

令和4年9月11日 国営武蔵丘陵森林公園にて、第23回親睦ウォーキング大会が3年ぶりに開催されました。組合員企業及び関係者総勢94名が参加しました。



「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」セミナー開催(生産性向上支援訓練)

2022.9.17(土)

令和4年9月17日、全日本印刷工業組合連合会 DX推進PT委員長の福田浩志様、副委員長の江森克治様を講師にお迎えして、「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」セミナーを、さいたま市宇宙劇場5F研修室にて開催しました。



「2022全印工連フォーラム」名古屋開催

2022.9.30(金)10.1(土)

令和4年9月30日、10月1日 名古屋東急ホテルにて「2022全印工連フォーラム」が開催されました。恵理事長、今家常務理事が参加。

「第64回全国印刷緑友会 埼玉大会」川越開催

2022.10.1(土)

当組合の常務理事である浅野貴之が会長を務める、全国印刷緑友会の第64回全国印刷緑友会 埼玉大会が、令和4年10月1日開催されました。



親睦ゴルフコンペ

2022.11.10(木)

太平洋クラブ 佐野ヒルクレストコースにて紅葉が美しく秋晴れの中、7名の参加者で開催されました。



「青年部主催コニカミノルタ見学会」

2022.12.8(木)

令和4年12月8日 青年部会主催のコニカミノルタ東京サイト見学会「EX感性売れるデザインを科学する」を開催いたしました。



「日印産連2023年新年交歓会」

2023.1.6(金)

令和5年1月6日 The Okura Tokyo (旧ホテルオークラ東京)「平安の間」にて開催されました。恵理事長、櫻井理事が参加。

「令和5年 新春の集い」組合・青年部会合同

2023.1.27(金)

令和5年1月27日 さいたま市 ステラ・デル・アンジェロ 3F「サローネ・シエロ・アズーロ」にて開催し、大野元裕埼玉県知事をはじめ、多数の国会議員、埼玉県議会議員が来賓としてご参加いただきました。新春講演会では、リコージャパン(株)埼玉支社事業戦略部プロモーショングループの小林ひろみ氏を講師に迎え「事例に学ぶ企業にとってのSDGs」を実施しました。



全国青年印刷人協議会

2023.2.4(土)

第36回全国協議会 グランドニッコー東京 台場。



「関東甲信越静地区協議会下期定例会」開催

2023.3.3(金)

令和4年度の「関東甲信越静地区協議会下期定例会」が、3月3日 ホテル・ザ・ノット ヨコハマ で開催されました。恵理事長、新副理事長、望月常務理事、事務局が参加。



埼玉県印刷工業組合青年部 仙台視察研修 2023.2.16(木)~17(金)



1日目

今年度の視察研修1日目は、組合員である今家印刷株式会社様の仙台工場と印刷業界では名の通った株式会社ユーメディア様を見学させて頂きました。

まずは、今家印刷様に到着し、2300坪の敷地面積を生かし、書籍などの頁物を印刷から製本までを一貫して行う環境にも対応した5S工場を見学。

創業から52年のノウハウを蓄積した本文1色、2色印刷は四六全判2色両面機。フルオートの前製ラインは24鞍。ページ数の多い本の製造に適し、品質を保ちながら短納期に対応した無駄のない設備が素晴らしい。

明るく広いワンフロアに印刷機と製本機が、効率を考慮して配置されており、工具や溶剤等も綺麗に整頓されていました。



また、従業員の方も若い方が多く、工場内はスローガンや個人目標が掲示してあるなど、人材教育にも注力されている事が、工場設立後クレームゼロという素晴らしい実績になっているのだと思いました。



その後、仙台名物牛タンで有名な利休にて昼食を頂き、ユーメディア様に移動。

会社の入口にて記念撮影！この写真が帰る際に、クリアファイルになって出て来て嬉しいサプライズになりました。

まずは、代表取締役の今野社長から会社の沿革や事業内容の紹介をして頂きました。会社の成り立ちや、印刷業以外のメディアに関する事業を増やしていき、東北震災後に地域を元気にする為に、ドイツフェアスタのイベントの企画を立ち上げ、続けて来た結果、現在では収益の柱の一つになっているなど、地元住民、

地元企業との打合せを密に行って、新たなビジョンを共有し、新規事業を生み出す事によって印刷以外の事業も増やしつつ、モノづくりでも増収増益になっている事など、これからのビジネスのヒントになるお話を聞く事が出来ました。

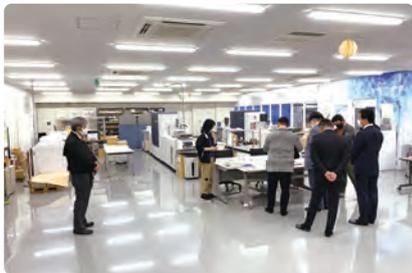
その後、工場内を見学。進行管理や資材調達を行うステーションでは、オフィス業務のDX化や、資材搬入もオフィスから出る事なく完了する仕組みになっていました。また、搬入から排出まで、横幅も広く真っ直ぐな動線は、用紙や製品の移動がスムーズに行えるようになっていました。



そして必要な用紙以外のストックは工場内ではなく、印刷予定に合わせて用紙が搬入されるようになっており、印刷機の周りには必要最低限の紙しかない事から、すっきりと広々とした作業のしやすい印刷現場になっていました。

そしてデジタル印刷ルームでは、オン

デマンド印刷と製本機が一つのフロアで完結出来るように設備されており、ここにも多くの機械がありました。3名で回されている事に驚いたと同時に、これだけ製本機が充実しているにも関わらず、オフセットで印刷されるものに関しては、全て工場団地内の製本会社に委託されているとのこと。社長いわく、予備を製品込みと考えるオフセット印刷と、一枚一枚が製品と考えるオンデマンド印刷では、製造の概念が違う為に、一緒に機械を使うやり方は得策ではないとの事。中々そこまでの設備投資をする事は大変ですが、本来そのように考えるべき事であるかもしれません。



ユーメディア様のお話や見学をする中で、モノづくりはもちろんの事、地方創生、人材育成、ダイバーシティ、SDGs等、世の中の課題に対して、積極的に取り組まれている姿勢を感じる事が出来ました。

工場見学後、今野社長も含む宮城県印刷工業組合のメンバーと懇親会を開催。

宮城県の地の食事とお酒を味わいながら、互いの地域での取り組みや仕事の状況など、身のある情報交換が出来ました。ITとネットワークが整った現代において、離れた地域との連携が益々大切になってくると思います。組合員の皆様には是非このような繋がりのお場の場が増える事が必要だと思われま



2日目

2日目は、仙台市において、環境や衛生に配慮した印刷物の製造及び、グラフィックデザインやデジタルコンテンツの制作からワンストップで対応出来る総合情報サービス会社として展開する株式会社ホクトコーポレーション様の動画配信スタジオを見学させて頂きました。

20坪の広さを持つメインスタジオは、大人数でのレコーディングやスチール撮影にも対応し、リハーサル用に大型ミラーも設置、その他にグランドピアノ、アンプ類、75インチ大型モニターなどを常設、オンライン会議や学会、セミナー、ライブ会場といった様々な用途に使用出来る素晴らしいバーチャルスタジオでした。

また別の部屋には、本格的なキッチンスタジオもあり、料理番組や料理教室の配信、収録、食品などの自社製品PR動画などの制作も出来るそうです。



そして、コントロールルームは、4Kの映像制作が可能な最先端の映像・音響機器が完備されており、豊富な音響経験のある及川社長の説明を聞きながら、今後の動画の可能性と必要と思われる事を

学ばせて頂きました。

また、同じ敷地内には、B3の輪転機や様々な製本機、シルク印刷の機械も設備されながら、抗菌抗ウイルス等の衛生製品の加工やパッケージング作業が出来るクリームルームも見せて頂き、未来を見据えて、環境を考慮した印刷の追求とデジタルコンテンツから封入に至るまでのワンストップサービスを、僅か50名で運営されている素晴らしい会社で、大変参考になりました。

その後、仙台観光としても人気の高いニッカウイスキー宮城峡蒸溜所を見学。



ツアーガイドにより、ウイスキーの製造方法についてやニッカの歴史について学び、最後にウイスキーのテイスティングを楽しむ事が出来ました。

敷地内の景観も美しく、運営の仕方や館内装飾、お土産品等も見ながら、感性を広げられるのも遠方へ研修の醍醐味ですね。



映画「のぼうの城」の舞台となった
忍城は、石田三成の水攻めに
耐えきった浮き城として有名。



忍城(御三階櫓)

15世紀後半の室町時代、成田顯泰によって築城され、石田三成の水攻めに耐えた「浮き城」として知られています。明治維新で取り壊されるまで、忍藩十万石の要として栄えていました。現在の「忍上御三階櫓」は、天守閣がなかった忍城の中心的建築物で、昭和63年に再建された「行田市郷土博物館」の展示室の一部になっており、内部を見学することができます。

行田市郷土博物館 ■住所/埼玉県行田市本丸17-23 ■開館時間/9:00~16:30(受付16:00まで) ■料金/一般200円 高校・大学生100円 小・中学生50円 ■電話/048-554-5911 ■休館日/月曜日(祝日、休日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、毎月第4金曜日(テーマ展・企画展開催中は開館)、年末年始

行田ゆるきゃら観光大使 うきしろちゃん

行田の名所、忍城から生まれたよ!トレードマークの浮き輪で今日も水上をぶかぶか。足には行田足袋を履いて、今日もPRに出陣するよ!



トレードマークは水にもぶかぶか浮かぶうきわ?

行田花手水



コロナ禍であった2020年4月に、参拝者に癒しを提供したいという思いから、行田八幡神社が水鉢にお花を浮かべ彩る花手水を始めました。

続いて前玉神社が花手水を飾り、次第に商店や民家の軒先でも花手水を飾るように広がっていききました。現在は、行田花手水weekと題し、夏場を除き毎月2週間、市内約100か所で花手水を飾っています。

また、月に一度ライトアップイベント「希望の光」を開催し、行田八幡神社や忍城、前玉神社を中心に、幻想的な光で和の空間を演出しています。



【問い合わせ先】

一般社団法人 行田おもてなし観光局
■営業時間/9:30~18:30
■電話番号/048-577-8442
または
行田市役所 商工観光課
■営業時間/8:30~17:15
■電話番号/048-556-1111

▲行田八幡神社

■住所/埼玉県行田市行田16-23
■祈願受付時間/10:00~12:00
13:00~16:00
参拝は終日可能
■電話/048-554-5926

古代蓮の里

地中深く眠っていた種子が偶然出土し、自然発芽した神秘的古代蓮。古代蓮の里では、池が広がる公園内を探索したり、古代蓮会館でその歴史に触れることができます。会館内から入場できる展望台からは、2015年世界ギネスに認定された「田んぼアート」と行田の街並を一望できます。蓮の見頃時期は6月下旬~8月上旬、田んぼアートの見頃は8月中旬から!毎年観光客があふれかえるほどの人気スポットです。

古代蓮会館(古代蓮の里 敷地内) ■住所/埼玉県行田市小針2375-1 ■開館時間/9:00~16:30(受付16:00まで) ※蓮の開花期は7:00~ ■料金/高校生以上400円 小・中学生200円 ■電話/048-559-0770 ■休館日/月曜日(祝日は営業)、祝日の翌日(土日の場合は営業)、年末年始 ※蓮の開花期:無休



2015年
世界記録認定

田んぼアート



展望台



※蓮の開花期
6月下旬~8月上旬

古代蓮池

行田足袋

木綿の産地だった行田では、近くに中山道が通っていたことで、旅行や作業用などの需要が高かったことから、足袋の生産が盛んになりました。明治になるとミシンの導入も進み、昭和になる頃には生産量が8,400万足を誇るようになり、全国生産の約8割を占めるほどに!2017年には足袋蔵が日本遺産に認定され、2020年には「行田の足袋製造用具及び関係資料」も国指定重要有形民俗文化財となりました。



足袋蔵まちづくりミュージアム
 ■住所/埼玉県行田市行田5-15
 ■開館時間/10:00~16:00
 ■料金/無料
 ■電話/048-552-1010
 ■休館日/12月29日~1月3日・8月13~16日

足袋とくらしの博物館
 ■住所/埼玉県行田市行田1-2
 ■開館時間/10:00~15:00
 ■料金/一般200円 小学生100円
 ■電話/048-556-5171
 ■休館日/月~金曜日

埼玉古墳群 (さきたま古墳公園)

「金錯銘鉄剣」が出土したことで全国に知られている「稲荷山古墳」や、日本一の規模を誇る円墳「丸墓山古墳」など、9基の大型古墳が残されています。古墳公園内には、はにわ作りを体験できるはにわの館、埼玉県立さきたま史跡の博物館(鉄剣所蔵)や、将軍山古墳展示館(石室や遺物の展示)があります。また、埼玉県名発祥の碑もここ古墳群にあるんです。



埼玉県立さきたま史跡の博物館
 ■住所/埼玉県行田市埼玉4834
 ■開館時間/9:00~16:30(受付16:00まで)
 ■料金/一般200円 高校・大学生100円
 中学生以下無料
 ■電話/048-559-1111
 ■休館日/月曜日
 (祝日、振替休日、11/14埼玉県民の日を除く、年末年始)



さきたま火祭り ■毎年5月4日に開催。たいまつ行列にはじまり、フリーマーケットや物産店、ステージが楽しめる。

観光物産館 さきたまテラス

令和5年4月1日に、さきたま古墳公園内にオープン。地場製品の販売、「わたぼくソフトクリーム」や、「行田の餃子バーガー」、「行田古代米カレー」など軽食や、カフェも併設されています。ぜひ、お越しください!

■住所/埼玉県 行田市佐間1503-1
 ■営業時間/9:30~17:00
 ●フード(餃子ランチ・カレー)
 10:30~14:30(L.O)
 ●その他メニュー
 9:30~16:00(L.O)
 ■電話/048-501-7407
 ■定休日/月曜日



給食でおなじみ!
 濃厚な味わいのわたぼくソフトが大人気!



2017年
 日本遺産認定

行田の生産業を支え、日本遺産に認定された「行田足袋」。歴史ある足袋蔵の街並みをぜひご覧ください。



うきしろちゃんが
 隠している足袋も、
 行田足袋なんだ!

観光物産館 ぶらっと♪ぎょうだ

行田市の観光情報、公共施設や宿泊施設等のご案内のほか、市内特産品の販売や紹介もしております。行田の地粉を使用したもちもち食感の「行田の餃子」が大人気です!

■住所/埼玉県行田市忍2-1-8
 行田市商工センター1階
 ■営業時間/9:30~17:00
 ■電話/048-554-1036
 ■休館日/12月29日~1月3日



行田の餃子。ダジャレ抜きの美味しさ。一度ご賞味あれ。



行田を見る・調べる・巡るのに
 行田市観光NAVIもご利用下さい。



「DX ツール活用」セミナー開催

7/19 (水) ・ 7/26 (水) ・ 8/ 2 (水) 全 3 回

全日程共 zoom によるオンライン開催 (13:30~15:30 の 2 時間)

DX ツールそれぞれの特徴や有効活用法及び導入事例を挙げて解説し、自社にあった DX ツールの選び方から導入方法さらに導入後の活用術を学びます。

講師 / 富士ビジネスイノベーションジャパン株式会社

締切 / 令和 5 年 6 月 23 日(金) ※QR コードよりお申し込みください

費用 / 3,300 円(税込) 定員 / 30 名



お問合せ：埼玉県印刷工業組合 Tel 048-642-0414 Mail info@saipia.net

仕事を通して成長し、社会に貢献する

「企業づくりのアドバイザー」

Shitara Printing Machinery & Supplies Co.,Ltd



設楽印刷機材株式会社

本社：群馬 〒379-2166 群馬県前橋市野中町158-1 TEL 027(261)7000代
営業所：東京・埼玉・宇都宮・水戸・長野・新潟・大阪・名護

PROFESSIONAL PRINTING GYM



Saikyo Printing



株式会社 埼京印刷

埼玉県戸田市笹目南町 27-25

TEL 048-422-2236

FAX 048-422-2539

お客様の「Innovation」実現のお手伝いを致します

カウンtronA200

商品の
ホームページは
こちら



めくりクセのつかない紙枚数計数機

コート紙などにめくりクセをつけずに高速計数ができます。独自の計数プレートで計数可能用紙は55~350kgまで対応し、プレート交換も工具を使用しない簡単方式です。液晶タッチパネルを採用し、より使いやすくなりました。

NC穿孔機 iRシリーズ

商品の
ホームページは
こちら



位置決め、セットを全自動で行うNC穿孔機

液晶タッチパネルの手順に従って用紙寸法や穿孔ピッチを入力するだけの簡単な対話方式です。ドンコ穴、システム手帳等の基本パターンが予め登録されていますのであなたにでもわかりやすく快適な使い勝手です。

株式会社 **ウチダテクノ** (株)内田洋行グループ企業

ホームページアドレス www.utecs.co.jp

ISO9001/ISO14001
認証取得企業
ISO9001:全組織、ISO14001:本社

〒104-0033 東京都中央区新川1-10-14 ☎03(5657)4071 〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 ☎06(6920)2460
〒060-0031 札幌市中央区北1条東4-1-1 ☎011(241)2825 〒812-0008 福岡市博多区東光2-10-11 ☎092(476)5011

ワンストップサービスの総合リサイクル企業

永田紙業株式会社

NR-G (Nagata shigyo Recycle Group)

明成物流株式会社 / 物流機器レンタル株式会社

ジャスダック上場 7866
ヤマト・インダストリー株式会社 / NR 株式会社
他資本投入数社

永田紙業グループは古紙・機密商品・鉄・非鉄金属・フードロスリサイクル
物流機器レンタル・産業廃棄物リサイクル(収集運搬・積替え保管・中間処分)
と様々な物を取り扱う総合リサイクル企業です。

お客様のニーズに合わせた車両で資源物買取・産業廃棄物リサイクル・物流機器
レンタルを致します。

お気軽にお電話ください。

本社工場^{※1}: 〒369-1101 埼玉県深谷市長在家 198 TEL:048-583-2141
深谷岡部事業所^{※2} 深谷事業所^{※2} 本庄事業所^{※3} 足利事業所^{※3} 群馬前橋事業所^{※3}
前橋中央事業所^{※3} 大泉事業所^{※3} 熊谷事業所^{※3} 秩父事業所^{※3} 鎌倉事業所^{※3}
※1 ISO9001・ISO14001・ISO27001・ISO45001 ※2 ISO9001・ISO14001・ISO27001 ※3 ISO14001・ISO27001



RMGT 970 が
あなたの SDGs を
アシスト
Assist



人に優しい



地球に優しい



経営に優しい



RMGT リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

リコージャパンは、
SDGs(持続可能な開発目標)の達成に
向けて、積極的に取り組んでいきます。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル <https://www.ricoh.co.jp>

G & Eみらい企業年金基金は、関東五県印刷工業厚生年金基金の後継制度です

従業員の福利厚生(退職金)と**経営者の老後保障**を同時に全額損金算入で準備できます。

- ◆ 最長70歳までの加入できます
- ◆ iDeCo積立金や、中途採用者の前会社年金制度の原資を持ち込めます
- ◆ 貴社の退職金制度に合わせた給付の設計ができます



退職金のこと、年金のこと、まずは、お問合せ下さい

G&Eみらい企業年金基金

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 1階
電話 03 (5405) 2403 FAX 03 (5405) 2404
E-mail: GandEmirai@jega-kikin.jp

マスコットキャラクターのG太(ジータ)くん、E美(イーミ)ちゃんのみらいん

**埼
洋
会
会
員**

* 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を*

(株)大塚紙店 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八

☎〇四九三七二〇〇三〇

代表取締役社長 **大塚 暁**

(株)共同紙販ホールディングス

本社 〒110-0014 東京都台東区北上野一・九・一二

住友不動産上野ビル6F

北関東支店 〒048(五七)二二五二五

〒366-0051 深谷市上柴町東五・二二・二二

代表取締役社長 **郡司勝美**

武正(株) 〒367-0047 本庄市前原二・三・二五

☎〇四九五(二四)一一七一

代表取締役社長 **武正進介**

溝口洋紙(株) 〒330-0004 さいたま市見沼区卸町一・三・三

☎〇四八(六八五)〇七一一

代表取締役社長 **溝口泰男**

(株)吉岡 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六二

☎〇四九(二五三)四九八五

代表取締役社長 **新城 享**



株式会社 吉岡



紙のしごと
「つたえる」「つつむ」「めぐらう」
私たちはあらゆる紙のご用命に
真心を込めてお応えします

溝口洋紙 株式会社



株式会社 深谷カーボン

代表取締役 深町 要一

〒360-0004
埼玉県熊谷市大字上川上952-5
TEL 048-520-1649
FAX 048-520-1410
URL <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>
メール youichi@ps.ksky.ne.jp

中小企業診断士 菊池明

東洋インキ勤務35年の診断士です。



- ・補助金申請
- ・販路開拓
- ・工程改善 & 経費削減

お気軽にご連絡下さい。
電話 080-2343-9449

株式会社 共同紙販ホールディングス KYODO PAPER HOLDINGS

プライベートブランド

「ニュー銀環FS」「サンレイド-FS」「KKクリームCoC」

本社 〒110-0014 東京都台東区北上野1-9-12
住友不動産上野ビル6階

TEL03-5826-5161 FAX03-5826-5181

北関東支店 〒366-0051 埼玉県深谷市上柴町東5-22-2
TEL048-572-2525 FAX048-572-5593

<http://www.kyodopaper.com> FSC・PEFC/CoC 森林認証取得



保険に、
愛と本質を。

ジブラルタ生命保険株式会社

〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10



大樹生命保険株式会社

〒100-8123 東京都千代田区大手町2-1-1
TEL:03-6831-8843 FAX:03-5564-0687
<https://www.taiju-life.co.jp/>

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

代表取締役社長 山田 周一郎

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300

ホームページ <https://www.fujifilm.com/figs/ja>

FUJIFILM
Value from Innovation

NEVER
STOP

グラフィックコミュニケーション営業統括部
営業一部 関東グループ

森 寿雄

E-mail: toshio.mori.km@fujifilm.com

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
〒330-6027 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
ランド・アクシス・タワー27階
Tel.048-600-1524 Fax.048-600-0800



Echo
50th
Anniversary
smile surprise
みんなが笑顔になれるチカラを発信する

株式会社エコー宣伝印刷 Echo Publicity Printing Co.,Ltd

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 7076
TEL 048-722-4681 FAX 048-722-4682



TEC
セカイヨキヨキヨキヨキヨキヨ
明日を創る特殊印刷の総合企画・製造販売
株式会社 協和テック

代表取締役 浅野 貴之

本社・工場 〒335-0031
埼玉県戸田市美女木 5 丁目 21 番地 6 号
TEL 048(449)1831 FAX 048(424)1381
E-mail lccoat@kyowa-tech.co.jp
http://www.kyowa-tech.co.jp



株式会社アサヒコミュニケーションズ

www.asahi-com.net



コスモプリント株式会社

http://www.cosmoprints.co.jp

TATSUMI

代表取締役社長

あたらし 新 道行

✉ m-atarashi@tatsumi-insatsu.co.jp

たつみ印刷株式会社 本社・工場

〒366-0029 埼玉県深谷市上敷免 28-2 TEL (048) 573-2711 FAX (048) 571-1220
https://www.tatsumi-insatsu.co.jp

IMAIE 今家印刷株式会社
取締役社長 今家裕久

埼玉県戸田市早瀬 1-5-1
宮城県名取市愛島台 1-3-1

【社内設備】 46全判2色両面機/4台、46全判1色両面機/4台
菊全判2色両面機/2台、菊半裁6色UV機/1台
並製本ライン24鞍、調肉システム/3台

皆さまに笑顔と
豊かさをお届けする
“グッドスマイルメディア”を
目指して



つくる、
つなぐ、
かなえる

Good Smile Media

総合印刷・オンデマンド印刷・WEB制作・SNSプロモーション・イベントサポート

望月印刷株式会社

〒338-0007
さいたま市中央区円阿弥5-8-36
TEL. 048-840-2112

あなたのための、DXでありたい。

DXという言葉がなかった時代から、
デジタルでビジネスの仕組みを変えてきた大塚商会。
テレワークやAIの活用、紙文書の電子化など、
新しい働き方を時代に先駆けて自ら取り入れ、
体感し、お客様に提案してきました。
あなたのビジネスの現場で、
ほんとうに役に立つ生きたソリューションを。
それが、大塚商会のめざすDXです。



あなたのビジネスに、大塚商会の提案力と対応力を。
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/dx/>



 **大塚商会**

株式会社大塚商会 東京本社：〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

急極冷凍 ULTRA FREEZER 特許取得済
FOOD Time Machine
フードタイムマシン

飲食業へ進出をお考えの方へ！
新しい冷凍技術のご提案

まるで冷凍とは思えない鮮度を感じてください！

フードロス0
細胞を破壊せず
-60℃で長期保存!!

ゼロ
フードタイムマシン
がかなえる3つの0

添加物0
劣化がほとんど起きないので
保存料・添加物が不要に!!

食中毒0
アニサキス[※]と寄生虫の死滅
微生物は増殖しない
(一部死滅)

株式会社 豊 翔

〒350-1159 埼玉県川越市中台 2-19-20



お問い合わせはこちらまで
049-202-2727

AI

Coming Soon

による 自費出版

あなたも今日から作家になれます！

見積り 原稿作成 校正 自動見積り

AIによる効率化 製本 原稿の自動作成・校正

出版 小ロットでの印刷・製本

出版・ISBN取得のサポート

〒350-1159 埼玉県川越市中台2-19-20
☎ **049-247-7775**

HPはこちらより
<http://www.howshow.net/>

行田市のソウルフードのご紹介



ゼリーフライ

フライ

フライと名前は似ていますが、「ゼリーフライ」は全く違う食べ物。お菓子のゼリーとも別ものです。見た目は衣のついていないコロッケのようなもので、そのルーツは、日露戦争の時、中国から伝わった「野菜まんじゅう」だということです。

ジャガイモにねぎやにんじん、さらにたくさんおからが入っているのも特徴で、食物繊維が豊富でヘルシー。おいしくてダイエットできることうけあい。ソースの味と香りがとても利いて、モチモチとした食感が大人にも子どもにも人気。

その名の由来は、小判形であることから「銭フライ」と言われていたものの「銭」がなまって「ゼリーフライ」となったとか。

ゼリーフライは市内のさまざまな場所で販売されており、おやつとして行田市民に親しまれています。

「フライ」と言えば一般的に揚げ物というイメージがありますが、行田のフライは揚げ物ではなく、焼き物なのです。

行田でいう「フライ」とは、小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みでソースまたは醤油だれをつけて食べるもの。クレープのようにふわりとした舌ざわりのお好み焼きのようなものです。

行田市の位置する北埼玉地方は古くから小麦の産地であり、もともと農家で手軽に作るおやつのようなものでした。安くて持ち運びが便利なおやつ、腹持ちがよいこともあって、行田で昭和初期に全盛期を迎えた足袋工場で、働く女工さんに大ヒットし、販売する店が増えて定着したとのこと。現在でも市内では20軒以上の店が営業しています。

フライ・ゼリーフライ
MAPはこちらから



足袋のまち 行田「足袋蔵」グッズ

「足袋蔵のまち」として日本遺産に登録された行田ならではのオリジナルファッションアイテムです



販売: コスモプリント株式会社
トートバッグ: 2,200円(税込)
Tシャツ: 2,750円(税込)

オンラインショップにて発売中!

うきろSHOP



マンホールファン必見! (全5種) 行田市「忍城」マンホールグッズ



「観光物産館
ぶらっと♪ぎょうだ」
で販売中!



販売: たつみ印刷
(上)ラバープレート: 770円(税込)
(左)缶バッジ: 550円(税込)
(右)ストラップ: 660円(税込)

マンホールカードは、行田市郷土博物館(※休館日は「観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ」)にて配布されています。



渡邊あや / AYA WATANABE

表紙「飛行機」

1987年生まれ

あやさんと言えば、「飛行機」。でも、自分の表現を見つけるまで、さまよい、悩み、模索し続けてきた。

養護学校の修学旅行で行った沖縄。「また飛行機に乗って、沖縄に行きたい」という思いから見つけた飛行機というモチーフ。心の深いところにある寂しさや満たされなさは多くの人に認めてもらいたい、関わりたいあやさんの切実な願い。

【主な展覧会歴】

<主な展覧会>

2018「第9回埼玉県障害者アート企画展『ソニックブームうふっ』」大宮ソニックシティ(埼玉県)

2018「Magic Number 2018 vol.1 ~夏の終わりの始まりに~」Arts and Creative Mind Gallery(東京都)

2019「日々の生きる展」ギャラリー林(東京都)

2019「現代アウトサイダーアート リアルー現代美術の先にあるもの」表参道GYRE Gallery(東京都)

2019「第10回埼玉県障害者アート企画展「Knock art 10 ~芸術は無差別級~」埼玉県立近代美術館(埼玉県)



KOBO
SYU

http://kobo-syu.com/

mail:kobo-syu@marble.ocn.ne.jp